

大津赤十字病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

<p>研究課題名 (研究番号)</p>	<p>切除不能尿路上皮癌の治療に関する多機関共同観察研究 (No.687)</p>
<p>当院の研究責任者 (所属)</p>	<p>石戸谷 哲 (泌尿器科)</p>
<p>他の研究機関および 各施設の研究責任者</p>	<p>この研究は、京都大学医学部泌尿器科が統括して行います 研究責任者 京都大学大学院医学研究科 泌尿器科学教授 小林 恭 分担協力者 京都大学大学院医学研究科 泌尿器科学助教 北 悠希 分担協力者 京都大学大学院医学研究科 泌尿器科学助教 佐野 剛視</p> <p><共同研究期間></p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都市立病院 清川 岳彦 (泌尿器科部長) ・京都医療センター 奥野 博 (泌尿器科部長) ・京都桂病院 大久保 和俊 (泌尿器科部長) ・医仁会武田総合病院 寒野 徹 (泌尿器科部長) ・康生会武田病院 河瀬 紀夫 (泌尿器科部長) ・洛和会音羽病院 赤尾 利弥 (泌尿器科部長) ・大津赤十字病院 石戸谷 哲 (泌尿器科部長) ・大津市民病院 七里 泰正 (泌尿器科部長) ・滋賀県立総合病院 吉田 徹 (泌尿器科部長) ・大阪赤十字病院 大西 裕之 (泌尿器科部長) ・北野病院 岡田 卓也 (泌尿器科部長) ・関西電力病院 青山 輝義 (泌尿器科部長) ・島田市立総合医療センター 福澤 重樹 (泌尿器科部長) ・神戸市立医療センター中央市民病院 川喜田 睦司 (泌尿器科部長) ・神戸市立西神戸医療センター 金丸 聰淳 (泌尿器科部長) ・公立豊岡病院 渡部 淳 (泌尿器科部長) ・姫路医療センター 岩村 博史 (泌尿器科部長) ・天理よろづ相談所病院 奥村 和弘 (泌尿器科部長) ・日本赤十字社和歌山医療センター 伊藤 哲之 (泌尿器科部長) ・倉敷中央病院 井上 幸治 (泌尿器科部長) ・静岡県立総合病院 吉村 耕治 (泌尿器科部長) ・枚方公済病院 東 新 (泌尿器科部長) ・秋田大学 小林瑞貴 (医員) ・山形大学 土谷 順彦 (教授)・内藤 整 (助教) ・東北大学 伊藤 明宏 (教授) ・筑波大学 西山 博之 (教授)・河原 貴史 (講師) ・関西医科大学 木下 秀文 (教授) ・兵庫医科大学 山本 新吾 (教授) ・香川大学医学部附属病院 杉元 幹史 (教授)・田岡 利宜也 (助教) ・宮崎大学医学部附属病院 賀本 敏行 (教授) ・熊本大学医学部附属病院 神波 大己 (教授)・倉橋 竜磨 (医員) ・岩手医科大学 小原 航 (教授)

	<ul style="list-style-type: none"> ・浜松医科大学 三宅 秀明 (教授) ・三重大学 井上 貴博 (教授)・杉野 友亮 (医員) ・北海道大学 安部 崇重 (准教授) ・九州大学 猪口 淳一 (准教授) ・函館五稜郭病院 高橋 敦 (泌尿器科部長) ・大分大学 秦 聡孝 (准教授) ・東京慈恵会医科大学 木村 高弘 (准教授) ・東京慈恵会医科大学附属柏病院 三木 淳 (泌尿器科部長) ・弘前大学 大山 力 (教授) ・奈良県立医科大学 三宅 牧人 (講師) ・札幌医科大学 橋本 浩平 (講師) ・鹿児島大学 鑪野 秀一 (助教) ・四国がんセンター 富田 諒太郎 (泌尿器科医師) ・京都府立医科大学 本郷 文弥 (准教授) ・大阪大学 植村 元秀 (講師) ・山梨大学 望月 孝規 (助教) ・久留米大学 末金 茂高 (准教授) ・国立がん研究センター中央病院 松井 喜之 (泌尿器科部長) ・北海道がんセンター 丸山 覚 (泌尿器科医長) ・大阪国際がんセンター 中山 雅志 (泌尿器科副部長) ・富山大学 北村 寛 (教授)・西山 直隆 (講師) ・北里大学 松本 和将 (診療教授) ・原三信病院 横溝 晃 (泌尿器科部長) ・山口大学 松本 洋明 (講師) ・名古屋大学 佐野 友康 (助教) ・島根大学 和田 耕一郎 (教授) ・日立総合病院 堤 雅一 (泌尿器科部長) ・茨城県立中央病院 常楽 晃 (泌尿器科部長) ・高知大学 井上 啓史 (教授)・辛島 尚 (准教授) ・大阪市立大学 加藤 実 (講師) ・神戸大学 古川 順也 (講師) ・広島大学 林 哲太郎 (講師) ・琉球大学 斎藤 誠一 (教授)・仲西 昌太郎 (助教) ・順天堂大学 永田 政義 (准教授) ・愛知医科大学 佐々 直人 (教授) ・徳島大学 大豆本 圭 (助教)
<p>本研究の目的</p>	<p>2017年12月よりヒト化抗ヒトPD-1モノクローナル抗体(抗PD-1抗体)「キイトルーダ(R)点滴静注20mgおよび100mg」(一般名:ペムブロリズマブ(遺伝子組換え))が「がん化学療法後に増悪した根治切除不能な尿路上皮がん」に対して承認を受け、さらに2021年2月にヒト化抗PD-L1抗体「バベンチオ®(一般名:アベルマブ(遺伝子組換え))」が「白金製剤を含む一次化学療法にて疾患進行が認められていない根治切除不能または転移性の尿路上皮がん」に対して承認を受けたことにより、尿路上皮がんの臨床における薬物療法のあり方は大きく変化しました。</p> <p>本研究では、抗がん化学療法・免疫チェックポイント阻害薬等を中心とした薬物治療を受けた尿路上皮がん患者さんを対象に、通常の診療で得られたデータを収集・解析を行います。その結果を用い、診断方法の改善やより良い治療法を確立することを目的としています。</p>
<p>調査データ 該当期間</p>	<p>2020年1月1日から2021年12月31日の間に薬物治療を受けた尿路上皮がんの患者さんが対象となります。</p>

<p>研究の方法 (使用する試料等)</p>	<p>該当する患者さんの臨床情報を診療録（カルテ）より取得します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 診断時年齢、性別、身長、体重、症状の有無、病気の進行具合 ・ 尿検査、血液検査 ・ CTなどの画像検査 ・ 治療内容 ・ 合併症・有害事象 ・ 治療成績 <p>研究期間は2022年1月1日から2024年12月31日までです。</p>
<p>試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法</p>	<p>各共同研究機関で匿名化された情報を、研究代表機関である京都大学大学院医学研究科 泌尿器科学 で収集し解析を行います。</p>
<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>データはすべて匿名化して扱われます。また、データは厳重に管理されません。匿名化されたデータはデータマネジメント担当者によりパスワードでロックされたコンピュータ内に論文化から少なくとも10年以上保管されます。個人情報および診療情報などのプライバシーは厳重に保護されます。保管期間終了後は復元不可能な状態に破棄いたします。</p>
<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>この研究は、京都大学大学院医学研究科泌尿器科の委任経理研究費により実施します。利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査しています。また、共同研究機関においても各機関の規定に基づき審査されています。</p> <p>この研究に必要な費用は研究者の研究費でまかない、患者さんに一切の負担はございません。また、この研究に参加していただくことへの謝礼もございません。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>大津赤十字病院 泌尿器科 石戸谷 哲 TEL : 077-522-4131(代表) FAX : 077-525-8018</p>
<p>備考</p>	